

令和 5 年 3 月 23 日
高齢施策担当部高齢者支援課

地域包括支援センターに関するアンケート 結果概要

地域包括支援センターの事業評価にあたり、外部からの評価を受ける（外部評価）ことで、運営に対するより適正な評価を受けることを目的に、下記のとおり区内の介護支援専門員を対象に地域包括支援センターに関するアンケート調査を実施した。

記

1 結果概要

(1)実施期間

令和 4 年 7 月 8 日（金）から 7 月 29 日（金）

(2)対象者

以下の区内介護サービス事業所に在職する介護支援専門員

居宅介護支援、特定施設入居者生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護

(3)アンケート配布数

381 事業所 736 枚

(4)配布方法

郵送により対象事業所宛て調査票、回答用紙、返信用封筒を送付

(5)回答方法

匿名にて回答用紙に筆記

(6)回収方法

専用の返信用封筒（料金受取人払い）により郵送回収

(7)回収率

65.4%（481 枚）

(8)主な調査項目

①基本情報

性別、年齢区分、事業所圏域、サービス種別、経験年数等

②センターと介護支援専門員との連携状況

センターの利用状況、相談の有無、満足度、センターに充実が望まれる業務等

③地域ケア会議について

参加状況、必要な機能等

④医療と介護の相談窓口について

認知度、利用の有無等

2 主な意見と区の考え方

主な意見	区の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・常に相談に乗ってもらったり、アドバイスを頂いたりできるだけ心強い。精神的負担が軽減される。 ・同行訪問、家族支援、入院支援等、アドバイスをいただきながら支援することができ、良い方向につながった。経過の電話もいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターは、地域包括ケアシステムの中核的な機関であり、今後も相談支援の充実に努めていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・包括職員が忙しそうにしている。業務が増えているように見え、相談しづらい時がある。地域包括支援センターは、地域の事情も知っており、今後もケアマネジャーの強いサポートをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月には2か所増設し、27か所となる。今後もより身近で利用しやすい窓口で支援できるよう区立施設等への移転を進めるとともに、高齢者人口の将来推計や地域の人口バランスを考慮して増設を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防プランについて、地域包括支援センターの対応が異なるので統一してほしい。予防プランの受託が負担に感じることがある。 ・その場でわからないことは調べて教えてくれたことがあるが、地域包括支援センターによって、対応が違うことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年12月に国の社会保障審議会介護保険部会でまとめられた「介護保険制度の見直しに関する意見」では、地域包括支援センターの負担軽減を進めることや介護予防ケアマネジメントの見直しに関する意見も出ている。区としても、国の動きを踏まえ、第9期練馬区高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画に向けて、事務の効率化や、地域包括支援センターにおける事務の標準化について、検討していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域で利用可能なボランティアやサービス等の情報を教えていただけたらありがたい。 ・地域ケア会議は、地域の課題を探し出し、また、社会資源を見つけ出すことにとっても役立っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムを確立するため、地域ケア圏域会議等で把握された課題および社会資源の現状を、地域の関係者や生活支援コーディネーターと共有するとともに、区の対策を検討していく。

3 集計結果概要

別紙のとおり